

令和6年3月21日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130

E-mail: daito-c@daito-center.org
http://user.yoitoko.jp/daito-c/



大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

出雲弁かるた取り大会



『出雲弁だんだんかるた取り大会』を初めて開催！
世代間交流の一環で、1月20日（土）三世代、
親子などが出雲弁とかるた取りを“おおはいごん”し
ながら楽しんだ。

子どもたちは、素早く取り札を取ってから、言葉
の説明を聞き納得顔（？）。大人・子どもが“えっ
しょ”に出雲弁を楽しみました。

“えかった、えかった”

“春 旅立ちの季節”

島根県立 大東高等学校 卒業式



3月1日（金）第76期生85名が、学園祭や
部活動の思い出を胸いっぱいに巣立って行きました。
感動的な答辞に涙する生徒や保護者もあり、
最後に全員で校歌を斉唱し、式を終えました。

“ふるさと大東を胸に頑張れ～！”

大東小学校3年生と —— 交流しました ——



2月9日（金）、大東小学校3年生の皆さんと高齢者との交流会をしました。

初めにボッチャの説明を受け、4チームに分かれて楽しみました。高齢者も童心に帰り、本気モードで競い合いました。

その後、児童は昨年11月の学年発表で披露したキッズ・ソーランを踊り、高齢者からは「涙が出るほど感動」、「見ているだけで元気をもらった」など大いにその場を盛り上げました。子どもたちはキラキラ輝いていて、一生懸命に取り組む姿をみせてくれました。

最後に幸雲体操を一緒に行い、交流会を締めくくりました。アツという間の時間でもっと色々な事を一緒にしたいという雰囲気になりました。

子どもたちは地域の宝です、我々も元気をもらいながら応援して行きたいものです。

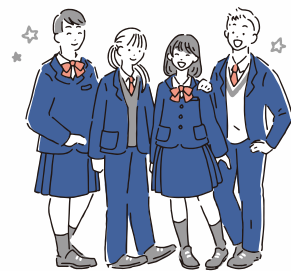


大東高校寄宿舎整備

空き家を活用した寄宿舎整備が進行中です！

大東高校は寄宿舎がなく、遠方からの生徒を募集する環境づくりについて検討をされていました。そのようななか、2024年度からの入学定員を削減することが示され、雲南市において空き家を活用した寄宿舎を整備されることになりました。

寄宿舎にて生徒たちが共同生活を経験することも学びの一つですし、地域にとっても寄宿舎の存在がまちの賑わいに繋がることを期待したいものです。



【寄宿舎の概要】

- ・ 位置：雲南市大東町大東
県道松江木次線沿い
大東Aコープ付近
- ・ 定員：10名程度

入居者募集中！

冬季の利用希望があればご相談ください。

【寄宿舎運営のスタッフ募集しています】

- ・ 炊事員：5:30～8:30
16:30～18:30 (1日3食)
- ・ 舎 監：19:00～8:30
- ・ 詳 細：複数のローテーションによる交代勤務

お問合せ先：雲南市教育委員会キャリア教育政策課 TEL 40-1074

大東小学校150周年記念誌刊行



創立150周年
キャラクター
『さくライオン』

どのページからでも、また子どもからご年配の方までどなたでも親しみをもって読んでいただける記念誌ができあがりました。A4版100ページほどで、明治・大正・昭和・平成・令和に章立てし

てあります。小学校のことだけでなく、大東地区の歴史を知るガイドブックにもなる内容です。平易な文章で綴っており、また写真や図表などもたくさん入っており興味をそそられます。

<あとがき> から

古代中国の書物『易経』に、「天地節して四時成る。」という一文があります。天地には春夏秋冬の節目があるから、季節がうまく循環し、万物は生まれ、育つことができる、人も天地の循環を見習って、適切に節目を設けることで物事はうまく運ぶ、という教えであろうと思われます。

本年度、大東小学校はまさにそのような節目の一つである、創立150周年を迎えました。

その大切な節目を祝い、この年を記憶に残るものとするために、創立150周年記念事業実行委員会が昨年度に組織され、同委員会により、令和5年11月12日に記念式典が挙行されるなど、様々な記念事業が実施されました。

実行委員会では、この機会に、これまでの大東小の足跡を記録にまとめて何らかの冊子の形にして地域の皆様にお配りし、今日までのあゆみを振り返っていただくとともに、これまで以上に大東小に関心をもっていただく契機になればとの思いから、創立150周年記念誌の発刊が企画されました。(後略)



頒布について

この記念誌は、2,000円以上の寄付金・協賛金をいただいた方への返礼品としてお届けします。なお、余部を大東地域交流センターで預かっています。ご入り用の方には有償で頒布しますのでご連絡ください。



この人に
聞く



まつもと みつのり
松本 光令さん

花をつくり始めて50年になりました。

花に癒されながら、自分なりに工夫を施して行く楽しみを見出しています。町に花と人の輪が広がると良いと思っています。

Q 花卉づくりを始められたのは、いつ頃ですか。
また、きっかけは为什么呢。

昭和49～50年頃に水田の減反政策がきっかけで、約50年ほどになります。大東で10人ぐらいで始めたと思います。

菊は路地、トルコギキョウはハウスで20a程作っています。

…その他、稲作を1.5ha、機械化されているとは言えパワーが凄い！…

Q トルコギキョウはどんな花ですか。
栽培の基本と松本流を教えてください。

トルコギキョウは、生け花などに良く使われており、島根県開発のオリジナルでピンク、ホワイト、紫色を作っており、出荷は、8月中旬～9月末です。土づくりが大切で、土壌消毒して堆肥・石灰・専用肥料を施します。

菊は、堆肥と5～6種類の肥料で土づくりをします。花が咲くころには、週に1回は病気予防のため消毒をします。出荷は、5月中旬～12月末です。自分で工夫した栽培方法がありますが、実際の作業でないと言い尽くせない部分です。普及指導員が学びに来られたこともあります（チョッピリ自慢！）

朝早くから1日に800～1000本を取り、10本を束にして出荷します。

…この作業は、奥様と仲良く共同です…

Q 花卉づくりの喜び、やりがい

第一に花卉づくりが好きです。今は、やらないといけんと思ってやっている部分もありますが、思い描いた色の花ができ、出荷できるときが嬉しいひと時です。

花卉をつくる人が、現在2～3人となり寂しくなりました。花づくりについて、仲間を広げたいと思っており、花の質向上や、土地の有効利用にもなると良いと思います。

Q 松本さんにとって、花卉づくりは…健康のため？

3月からは、土づくりが始まりますが、自分の育てた花を見て汗を流して一杯やるのが健康法かな～。

…約半世紀の経験からくる技術と物づくりの歓びを感じる深～いお話でした…

あなたも絵画教室に
参加しませんか



藤本雄二絵画展の様子（大東交流センター）



日展会友の藤本雄二さんは、絵を描く楽しさを広めようと毎月第2日曜日午後1時より、大東交流センターで絵画教室を開催しています。

水彩・油彩・クレヨンで季節の花・果物などを描き、技術の向上や趣味として皆さんと一緒に楽しんでいます。

誰も学生の頃、写生などの経験をお持ちだと思います、参加自由です。

ときには絵を描いてみませんか。
（子どもさんも歓迎！）



※お問い合わせ：藤本雄二（Tel 43-2207）又は大東交流センター（Tel 43-2130）

にがおいで
こんにちわ!

加多神社20回目の節分祭

加多神社総代会
会長 村上 昭雄



(絵:大東町東町北 細田 滋)

加多神社では節分に災難除去、家内安全を祈念して節分祭を行っています。午前10時30分より拝殿・本殿にて神事の祈願祭を行います。この神事自体は以前から行われてきました。平成16年11月1日の雲南市誕生を機に、翌年2月3日の節分祭から、

神事に年男・年女(氏子から8名程)、園児(大東こども園、大東保育園、かもめ保育園)を招き、その後回廊から年男・年女・招待者等(総勢20名程)が「鬼は外、福は内」のかけ声で袋に入った豆と紅白餅をまきます。それが終わる頃、境内に総代扮する3匹の鬼が現れ、園児は鬼を追いかけて豆をまいて鬼払いを行い、最後は鬼と一緒に仲良く記念写真を撮ります。

これらは当時の総代の皆様(会長は長谷宏美様)が地域の活性化、そして子ども達に伝統行事を体験してもらいたいとの思いから始められたものです。コロナ禍の中、園児の参加は過去3年間休止していましたが、今年は4年ぶりに招いて鬼払いも行いました。今年は土曜日の休園日でしたので個別の参加で30名程でしたが、平日の時はまとまったの参加で100名以上になります。園児の参加により、祭

が和やかに盛り上がり大変感謝しています。

かつては夕刻になると近所のあちらこちらから「鬼は外」の大きな声が聞こえてきました。それがいつの頃からかあまり聞かれなくなりました。我が家でも祖父・父・私と代々受け継いで豆まきを行っていましたが、帰りが遅くなることもあり次第に行わなくなりました。こうした社会の変化の中で、節分の伝統行事を伝承していくことの意義はますます高まっていると思います。



本年11月に雲南市は誕生20周年を迎えます。加多神社の節分祭も総代間で受け継がれ今回で20回目を迎え、加多神社では一番にぎやかな祭典となっています。この祭りを始められた当初の総代の皆様の思いを心に刻み、こども園・保育園様の御協力を得て、これからも受け継いでいきたいと思ひます。来年の節分は2月2日で日曜日です。平日はお参りできない方にもこの機会に加多神社の節分祭へ足を運んでみてください。

✿暮らしと文化✿

石川文化劇場で見た旅芝居

新庄南 高橋 勲

遠い日、石川文化劇場で見た旅芝居のひとこまを、思い出すまま書き述べたいと思う。

戦後間もない昭和22年(1947年)、大東南本町の小高い場所に石川文化劇場が誕生した。オーナーは、実業家肌の文化人と評されていた大東本町の傑人石川良一氏。当時の公演内容は演劇・浪曲・少女歌劇・映画などと多様で、特に人気のあった「廣瀬まこと劇団」をリストアップしてみる。座長は廣瀬まこと、看板役者の島田誠二郎、人気のあった女優の花柳蘭子、敵役に名優がいたが役者名を失念してしまった。団員数は20名前後とみた。特に印象深い演題は何といっても長谷川伸の戯曲で「一本刀土俵入り」におちつく。たしか二幕五場の芝居だったと記憶している。配役は駒形茂兵衛の役に島田誠二郎、お蔭に花柳蘭子、この場面の敵役は廣瀬まことが演じていた。

序幕は無頼漢を取り押さえた横綱を目指す取的の茂兵衛が無一文と知り、酌婦のお蔭がありつたけの金子を恵んでやり、それでは足りないだろうと櫛と簪まで

与える。二人のやりとりは情が籠っておりジーンと来る場面であった。

二幕目は十年後恩返しをするため茂兵衛がお蔭の旅籠を訪れる。いかさま賭博に手を出し、悪党一家に追われるお蔭の亭主を助け、お蔭夫婦と子供を逃がす、悪党一家との殺陣チャンバラに島田誠二郎の扮する駒形屋茂兵衛の太刀捌きに万雷の拍手が鳴りやまず、後部座席からの掛け声や指笛も乱れ飛んで場内は真に興奮のつぼと化していた。

大詰は一転して島田誠二郎の扮する駒形屋茂兵衛の名台詞で会場は静まった。劇場の空間に凜とした茂兵衛の台詞が流れる。

「これが十年前に櫛と簪、巾着ぐるみ意見をもらった姐さんにせめてみてもらう駒形のしがねえ姿の横綱の土俵入りでござんす。」

石川文化劇場が輝いていたあの日あの頃の思い出。昭和は遠くなりけり。

—丸子山を愛する会—

“もうすぐ花見の季節” 丸子山の河津桜が咲き始めました



丸子山を愛する会では、年4回清掃活動を実施しています。毎回30人程で、みなさんに気持ち良く公園を利用してもらおうと草刈り、落ち葉の片付け等公園の整備全般を行っています。ボランティアでいっしょに体を動かしませんか！



※連絡先 丸子山を愛する会事務局
大東地域交流センターまで

図書館だより

「おんぼら味噌の会 味噌づくり編」を開催しました！

2月25日（日）「おんぼら味噌の会 第3弾 味噌づくり編」を開催しました！講師に岩城こよみ先生（鉄の歴史博物館 研究員）をお呼びして、子ども10名、大人13名の計23名の参加者でした。昔ながらの味噌づくりがテーマで、大豆を煮るときは外カマドと薪を使い、杵と臼で大豆をつぶしました。完成した味噌は、お家に持ち帰り、半年～1年ほど熟成させると食べられるそうです。途中お昼には豚汁をつくり、みんなで食べました。

子どもも大人も協力して、積極的ににぎやかに活動しました。先生が「昔から味噌作りは、味噌祝いともいわれ大切な行事でした」と言われた意味がよくわかりました。



大東図書館

○休館日：毎週金曜日・祝日・月末

○開館時間：10:00～18:00

○電話：0854-43-6131



お雛様飾り



お内裏様とお雛様がにっこり微笑みかけてくれています！
（田中下 狩野勝徳さん宅）

大東地区振興あいあい募金運営委員会

2024年度

「まちづくり事業」の募集

「大東地区振興あいあい募金」の寄付金を活用した「まちづくり事業」を募集します。

- ◆対象：大東地区内の活動団体
- ◆事業：地域振興に資する事業
- ◆金額：5万円以内の助成金
- ◆受付：2024年4月26日まで
- ◆申込み：大東地域交流センター内事務局
電話43-2130

■令和6年2月末現在の人口・世帯数

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	34,959人 (-126人)	11,180人 (-28人)	3,334人 (+5人)
男性	16,934人 (-77人)	5,471人 (-16人)	1,623人 (+5人)
女性	18,025人 (-49人)	5,709人 (-12人)	1,711人 (±0人)
世帯数	13,570世帯 (±0世帯)	4,113世帯 (+8世帯)	1,284世帯 (+4世帯)
高齢化率	40.66% (+0.12%)	40.66% (+0.06%)	—

資料：雲南市HPより